

11・12月の催し物ご案内

タイトル	内容	日時	場所	対象(定員)	料金	備考
科学館観望会	観望対象 ①秋から冬の星座の星 ②秋から冬の星座の星 ③月、秋から冬の星座の星	①11月21日(土) ②12月5日(土) ③12月19日(土) 19:00～20:30	科学館駐車場	－	無料	－
札幌市天文台 夜間公開	観望対象 ①秋の星座の星	①11月13日(金)～ 15日(日) 18:00～20:00	札幌市天文台 札幌市中央区 中島公園1-7 (コンサートホール Kitaraむかい)	－	無料	札幌市天文台 TEL: 011(511)9624
	観望対象 ②秋から冬の星座の星 ③月、秋から冬の星座の星	②12月4日(金)～ 6日(日) ③12月18日(金)～ 20日(日) 18:00～20:00				
4次元デジタル 宇宙シアター	地球を飛び出し、はるか彼 方の銀河まで!星が飛び出 す立体シアターで、宇宙空 間を大冒険!	12月12日(土)・ 13日(日)・ 19日(土)・ 20日(日) 上映時間は下記特 集記事のとおり。	科学館展示室	－	無料 (展示室観覧料が 別途かかります)	展示室観覧券を お求めのうえ、直接 お越しください。 館内で専用の整理 券をお配りします。

4次元デジタル宇宙シアター

大人気の国立天文台の4次元デジタル宇宙シアターが期間限定で科学館に登場します!星が飛び出す立体シアターで、宇宙の広さを感じましょう!

空間の3次元に「時間」を加えた「4次元」で宇宙空間をシミュレートし、太陽系・恒星・銀河系などの、宇宙の構造を知ることができます。

「地球とあの星はどれくらい離れているの?」「宇宙のはてはどうなっているの?」ぜひ、ご自分の目でお確かめください。
もしかしたら、みなさんの知らない宇宙の姿を見ることができるかも…!

実施日時:
12月12日(土)・13日(日)・
19日(土)・20日(日)

①10:10 ②10:50
③11:30 ④12:10
⑤13:20 ⑥14:00
⑦14:40 ⑧15:20



科学館からのお知らせ

★さよなら「URANUS」…★

当館のプラネタリウムはリニューアルのために、11月2日から来年春まで休演となります。現在のプラネタリウム機器は、「光学式」と「デジタル式」の二種類の機器を利用し、美しい星空の投影や、ドーム全体に映像が広がるプラネタリウム番組を上映してきました。

「光学式」とは、ドームの中央に設置されている、丸いボールのような機械を指します。当館の光学式プラネタリウムは、ギリシャ神話の天空神の名前から、「URANUS(ウラノスまたはウラヌス)」と名付けられています。

このURANUSは、当館の2代目の光学式プラネタリウムとして、平成9年(1997年)から約19年間みなさんに星空の魅力をお伝えしてきました。プラネタリウムとしては引退をしますが、リニューアル後は機器の仕組みがわかる状態で館内に展示される予定ですのでお楽しみに!



★冬の特別展★ 「ギガワンダブル!自由研究ラボ」

プラネタリウムがお休みだから科学館はいいや…なんてもったいない!

冬の特別展は、自由研究のヒントになるような内容でいっぱいです。「宇宙のことを調べたいけど、どうしたらいいかな?」「生き物を育てて観察日記をつけたいけどどうやって始めよう?」など、この機会に知りたいこと、疑問に思ったことを聞いてみよう!

“ギガ速い”のCMでおなじみギガスーツの製作に協力した「スケルトニクス」(右写真)によるロボットショーや、サイエンスパフォーマー「なおよまん」によるスペシャルサイエンスショーなど普段の科学館では見られない特別なショーも盛りだくさんなので、小さなお子さんや大人の方も楽しめます。

詳細は、決まり次第当館のホームページやチラシでお知らせします。お楽しみに!



- 期間:2016年1月5日(火)～1月17日(日) 期間中無休
- 時間:9:30～16:30 ●場所:2階特別展示室 ●料金:展示室料金でご覧いただけます

休館日 11/2・4・9・16・24・25・30、
12/7・14・21・22・24・27～31

観覧時間 5月～9月:午前9時から午後5時まで、
10月～4月:午前9時30分から午後4時30分まで
(入館は閉館の30分前まで)

観覧料	大人	中学生以下	※()は、敬老手帳、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示の方。
展示室	700円(500円)	無料	

— 科学の今と未来をつなぐ —
札幌市青少年科学館
 Sapporo Science Center
(札幌市青少年科学館 指定管理者 公益財団法人 札幌市生涯学習振興財団)

〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目 TEL:011(892)5004 FAX:011(894)5445 ホームページ: <http://www.ssc.slp.or.jp/>

プラネタリウムは
改修工事のため
お休みです。



札幌市青少年科学館天文リーフレット

星空散歩

2015年
11・12月号
vol.62

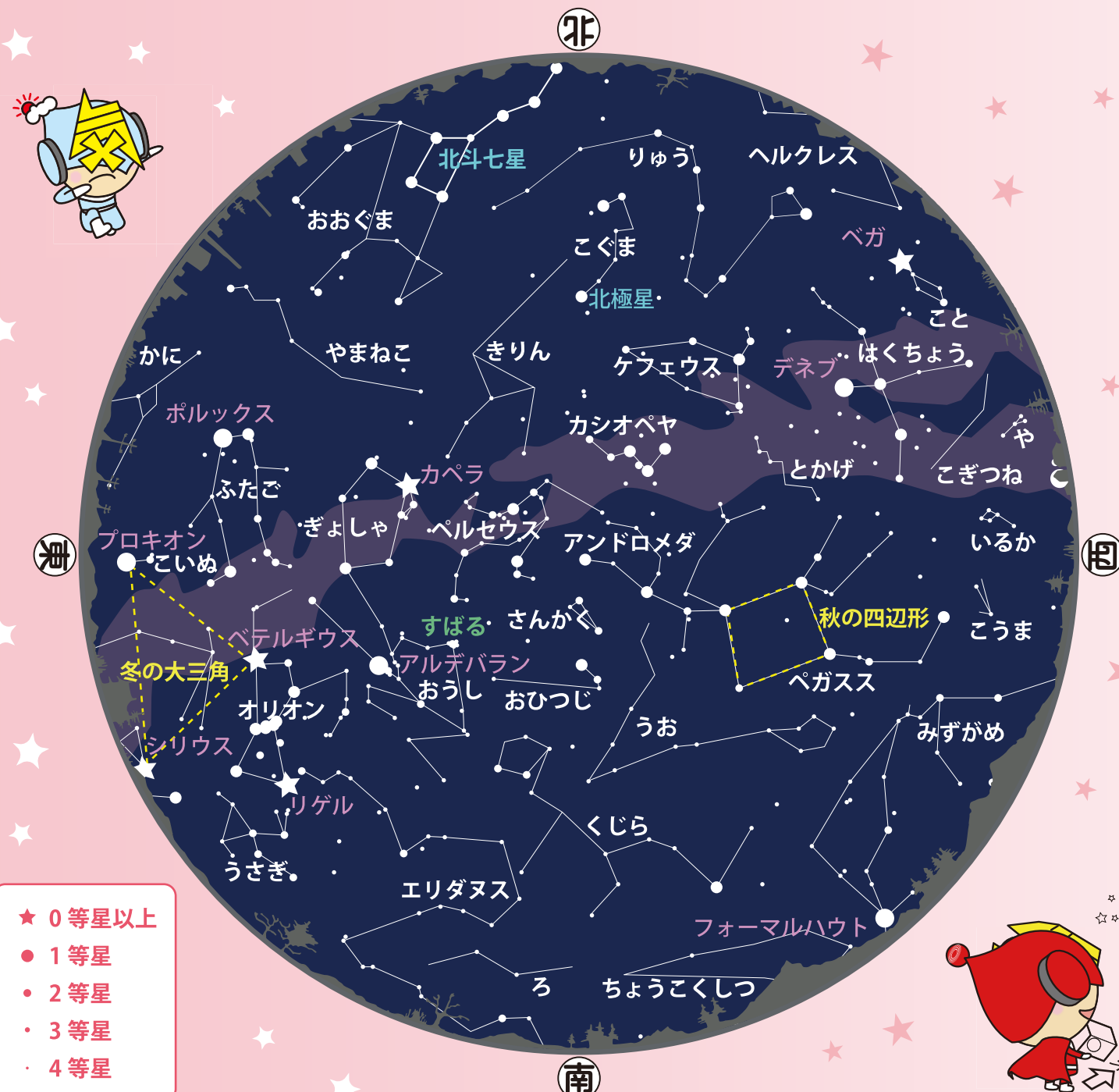


今回の表紙写真は
ホワイト
イルミネーション

撮 影:札幌市青少年科学館 天文係 樋山克明
撮影日:2014年11月29日
撮影地:札幌市中央区大通公園
データ:Canon 60Da、AT-X 124 PRO DX 12-24mm F4、
f5 ISO400 4秒露出の325枚と、1/4秒の1枚を合成。

科学戦隊
サイエンジャー





- ★ 0 等星以上
- 1 等星
- 2 等星
- 3 等星
- 4 等星



だんだんと冷え込んできますが、秋は夜が長いので星を見る時間が多く取れる季節です。「秋の四辺形」を含むペガス座が西の空に傾く頃、天頂付近には、カシオペア座、アンドロメダ座の親子と、アンドロメダ姫のピンチを救った勇者ペルセウス座の姿を見つけることができます。

東の空からは次の季節の目印「冬の大三角」が顔を出してきます。三角をつくる星のひとつ、ベテルギウスを含むオリオン座は、「冬の王者」とも呼ばれ、明るい星をたくさん含むリボンの形が特徴的です。また、お隣のおうし座のエリアには「すばる」という若い青白い星の集まりがあります。肉眼でいくつ数えられるかで視力検査になりますので、チャレンジしてみましょう。5、6個見えると目のよい方、7個以上見えたら特に目がよい方といえるでしょう。双眼鏡を使って見てみると、数十個の星が寄り添うようすがとても美しいです。

星の見つけ方

- 1 見たい方角を向く。
- 2 左図を見たい方角が下になるように持って、頭の上にかざす。
- 3 星を見つける。

星図のように見える時刻

11/1	午後11時ごろ
12/1	午後9時ごろ

月と惑星のあんない



この時季、日の出前の南東の空には3つの惑星が輝いています。まず、地平線近くで輝く金星を探しましょう。とても明るく、すぐ見つかります。金星の右上には火星、その先には木星も見つけられます。11月と12月の上旬には、細い月が3惑星の近くを移動します。ぜひ早起きをして、観察しましょう。



月のかたち	○ 満月	11/26、12/25	● 下弦	11/3、12/3
	● 新月	11/12、12/11	○ 上弦	11/19、12/19

旬の話題

流れ星を見に行こう！ ～ふたご座流星群～



★ 今年のふたご座流星群は、流れ星をたくさん見つけられるチャンスです。ピークは12月15日の午前3時ですが、前後数日間、流れ星の数が多くなります。流れ星を見るコツは、街明かりの届かない真っ暗な場所へ行き、長い時間星空を眺めることです。また、この時季は防寒対策も大切です。8月に大きな流星群がありましたが、ふたご座流星群も良い条件で観測できます。流れ星を見つけて、願い事をしてみたいはいかがでしょうか。

